

R8年度 ケアホームカラフル地域連携推進会議 議事録

R8.4.25土曜 10:00より開催

NPOひなた 秋本旬子作成

1. 参加者の紹介

〇〇様（南郷区長） 〇〇様（民生委員） 〇〇様・〇〇様(住民代表)
管理者 職員 利用者

2. R7年度、ケアホームカラフル(共同生活援助事業)のご報告

①R7年度事業報告

- ・R6年度の決算書に基づき、事業報告を行った。
- ・グループホーム(共同生活援助事業)の事業収益について、説明をした。

③今後の方針

- ・利用者さんの高齢化しているが、身体機能の低下は認められず、介護認定をしてもらっても、介護施設への入所の対象とならない。
- ・できるだけ、グループホームでの生活を継続できるようにしていきたい。
- ・利用に空きが出てきた場合、今後は、貧困、母子など家庭的な事情で生活が難しい18歳以上の受入れも考えていきたい。

3. ケアホームカラフルの入居者について

①入居者の心身の状況について

- ・1名(女性)が区分認定で、区分4⇒区分5になった。
- ・1名(女性:区分4)が先日より、〇〇病院に入院となった。更年期と共に、躁鬱症状が顕著になってきており、精神科の指示で服薬量も増えていた。その矢先、急性虫垂炎のため、入院となった。10日～2週間の予定。
- ・退院後も、グループホームでの生活に戻られる予定。

②退所者について

- ・1名(女性:区分4)がR7.8頃に、認知症の症状が強くなり、〇〇病院に入院。8か月の入院を経て、現在は介護老人ホームに入所。
- ・グループホームは、入院時に退所。
- ・ご本人は再度グループホームへの入所を希望されたが、ADLが著しく低下したため断念。

4. 利用者の日常生活の現状と今後の支援の方法について

- ・ADLの低下を防ぐためにも、できるだけ、自立した生活を継続して頂く。
- ・生活習慣などを崩さず、ご本人の生活スタイルを尊重してもらう。
- ・買いたいもの、食べたいものなど希望を聞きながら、できるだけ希望する生活の実現をお手伝いしていく。

(ご意見)

- ・利用者が経済的に安定しておられて、必要な福祉や介護を受けられるので安心した。

5. 自然災害BCPと感染症BCPについて

- ・起こりうる自然災害と新興感染症時の事業所としての対応を具体的にBCPをみながら、お伝えした。
- ・事業継続ができるよう、緊急の職員体制や日常生活や支援に必要な備品や食品、物資などの備蓄についてお伝えした。

(ご意見)

- ・町内のハザードマップなどを確認しながら、より負担のない、安全な避難方法を取ってもらう方がいい。

6. ヒヤリハット報告書について

- ・R7年間のヒヤリハット報告書を共有させて頂いた。

(ご意見)

- ・実際にグループホームの中で起こりうることをイメージしやすかった。
- ・血圧の急激な上昇など、体調急変によるヒヤリハットがあるな…実感。

7. 施設内、居室内の見学とご利用者と面談

- ・利用者の様子と居室内などを見て頂いた。
- ・食事面などの実情をお伝えした。